

平成25年9月29日(日) 日本を美しくする会

第198回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 吉田南小学校 校長 菊地 貴宏

参加者数 12名 教頭 上部 孝雄

1、代表世話人挨拶 山崎純
先日、千葉掃除に学ぶ会より掃除の手順について資料を送っていただきました。2回掃除実践すればサブリーダーが出来ます。という手順です。
そのお話の中にありましたが、クエン酸を使うときれいになるというお話がありました。クエン酸は食べても大丈夫といったものですから、体に害にはなりません。10倍に薄めて尿漉しをつけておくときれいになります。我が家のトイレで実験してみたら本当にきれいになりました。田中会長も推薦されていますので、特に古いトイレで汚れがきついところでやってみるといいと思います
2、体験感想発表
・小林 康宣さん(益田市・飯塚紙商事)
今日初めて参加しました。岡崎さんから紹介されて鍵山さんの本を2冊お借りして読ませていただき掃除で学校が、職場が、生活がよくなったとあり読むだけでなく実際に感じてみたいと思い参加しました。便器に向かってあれほど真剣に磨くことは人生で初めての事です。終わった後の清々しい気持ちとトイレが明るくなったような気がします。たかが掃除、掃除を見直します。
・田村 勝則さん(益田市・日の丸)
4ヶ月腰痛で参加できませんでしたが、やっと掃除ができる状態になりました

2、体験感想発表
・吉本 忠司さん(益田市・MDS)
今まで3、4回参加しておりましたが、今日初めて最後の片づけまでしました。やはり掃除は始めから最後の片付けまでしてこそ掃除をしたことになると思います。終わった後の清々しさは気持ちいいです。会社はいつもやっていますがきれいで、汚れているところをやってこそ工夫が生まれます
・齋藤 恭子さん(益田市・キューサイファーム島根)
夏の暑い時は参加できなくて汗を沢山かいてませんが今日、最後の床の掃除は汗が出ました。10月20日の空港マラソンの10キロに挑戦します。今度の掃除の時その報告をさせていただきます。多分最後の坂が上がれないのではと思っています。
・稲元 正敏さん(浜田市・かまや)
僕もマラソンを走ります。ある講演で100日実践という話を聞き、明後日から毎日トイレ掃除をします。もっと新鮮味のある掃除をしたいので、他の会に出向いていきたいですね
・佐々木 昇さん(浜田市)
段々体が動かなくなるので、これから10年間は実践を主体に頑張りたいと思います。リーダーは外してください
・田原 隆文さん(益田市・サニクリーン広島)
清々しい掃除で今日一日気持ちよく過ごすことが出来ます
3、ご案内
毎月松江・出雲、下関、岩国、宇部、萩の月例会のご案内を頂いております。
ご参加のご希望がございましたら、前もってお問い合わせ下さい。事務局 岡崎 慎

4、鍵山秀三郎相談役のお言葉
貧乏は恥ずかしいことではない
私のところに寄せられる相談の中に、こういうものがあります。「真面目に働いているつもりなのですが、いつまで経っても貧乏生活から抜けられません。家族を幸せにするために、私が出来るとはなんでしょう」この人が何を指して「貧乏」と言っているかといえば、おそらくお金が充分にないということでしょう。しかし、お金が足りないというのは、そんなにみじめなことなのでしょうか。わたしが戦争で疎開をしていた時は、非常な貧乏生活でした。お金はおろか、食べる物も僅かしかなかったのですから、でも私は、それをみじめに感じたことはありませんでした。なぜなら、わたしは両親が一所懸命に子供たちを守ろうとしている姿を見ていたからです。父や母が必死になって子供たちの為に働いている。その光景を見ると、両親の心のこもった姿が本当にありがたく思えました。たとえ、金銭的な収入が少なくても、親が一所懸命生きている姿そのものが、金銭的な貧しさを補うのではないのでしょうか。そのためには、奥さんの理解も大事だと思います。今の世の中では、亭主の稼ぎが少ないことを明るく受け取る奥さんは稀で殆んどの人が他者と比較して批判したり罵ります。そうすると家の中が荒れてきます。そこには豊かさというものはないわけです。「よそはよそ、うちがうち」という考え方があってもいいのではないのでしょうか。森信三先生は「他者との比較ほど不幸になる道はない」と仰っておられます。よそと比べることは、不幸になる一番の早道です。ですからその反対の生き方、よそと比べずに一所懸命に生きることが大事なのです。
5、森信三先生の教え 敬愛の二字 (終身教授録より)
一個の人格が出来上がるには、いろいろな方面ありますが、いま上下という関係から見ますと自分より上の人に対する心がけと、自分より下の人々に対する心得とに、つづめて考えることができましょう。すなわち、「敬愛」の二字につづまると言えるわけです。かくして人間はこのように長上と目下の人々に対する心がけという点からも、自己を磨くことができるわけでありませぬ。